

●執筆者紹介(五十音順) ①生年 ②簡単な経歴 ③主な著書 ④興味あるテーマ

相原精次(あいはら・せいじ)

① 昭和十七年七月 ②神奈川県立高等学校定年退職 日本ペンクラブ会員 ③『「濃・飛」秘史 文覚上人と大威徳寺』、『東北古墳探訪』(彩流社) ④東国の古代史及び古墳

新井 宏(あらい・ひろし)

① 昭和十二年十二月 ②東工大卒。工博、元日金工常務、前韓国国立慶尚大学招聘教授 ③『まぼろしの古代尺』(吉川弘文館)、『理系の視点から見た考古学の論争点』(大和書房) ④数理考古学(炭素年代論、鉛同位体比論、古代計量史)、金属考古学

太田精一(おおた・せいいち)

① 昭和十一年五月 ②東北大学文学部社会学科卒。民間会社を経てジェトロに入る。国内外での勤務を通じ、人間社会の同質性と異質性を体感 ③「遠い処へ」「岐路」(『まんじ特集号』栄光出版社) ④歴史の転換期での世界の中の日本の実像を探る

鯨 游海(くじら・ゆうかい 本名・池上貞夫)

① 昭和十一年十一月 ②福島県会津若松市出身、大阪生まれ。大阪大学経済学部卒。協和銀行(現りそな銀行)各地支店長、関連会社役員を経て伸和(株)会長 ③『漢詩潮時録』、『道徳イノベーション共著』(共に栄光出版社) ④漢詩、漢文、漢籍

佐藤健一(さとう・けんいち)

① 昭和十三年七月 ②平成十年三月明大中野八王子校定年退職 ③『和算で遊ぼう』(かんき出版)・『塵劫記初版本』(研成社) ④江戸時代の数学

柴田弘武(しばた・ひろたけ)

① 昭和七年一月 ②都内中・高校教諭を経て、現在えみし学会会長。日本ペンクラブ会員 ③『全国「別所」地名事典』(彩流社)・『産鉄族オオ氏』(崙書房) ④蝦夷の歴史など

島津隆子(しまづ・たかこ)

① 昭和七年 ②四十代半ばから文筆活動を始め「歴史読本」「歴史と旅」など歴史雑誌に執筆 ③『乱に咲く・日野富子』、『新選組密偵山崎丞』(共に新人物往来社) ④それぞれの時代を生き
た人物たちの愛と死をみつめたい

高橋由貴彦(たかはし・ゆきひこ)

① 昭和五年九月 ②宮城県生。東北大学卒業後NEC勤務、昭和四十三年東京クリエイティブ設立 ③写真集『秋篠寺』(芸立出版)・『支倉常長の足跡』(講談社) ④天正少年使節、香料、写真史

滝澤 中(たきざわ・あたる)

① 昭和四十年十月 ②サラリーマン経験の後、作家・政治史研究者として独立 ③『幕末志士の政治力』(祥伝社)・『最新政治のニュースが面白いほどわかる本』(中経出版) ④政治史、政治家の生きざま、近現代史

宅見勝弘(たくみ・かつひろ)

① 昭和四十一年八月 ②大阪出身、早稲田大学卒 ④文明の興亡

千坂精一(ちさか・せいいち)

① 昭和五年一月 ③『上杉騒動秘話』、『信玄・謙信の決断と戦法』(ダイヤモンド社)・『越後の龍謙信と上杉一族』、『甲斐の虎信玄と武田一族』(共著 新人物往来社)・『特攻基地の少年兵』(光人社) ④鎌倉中

期に興り幕末まで続いた上杉氏歴代の生きざま、中世関東の動乱史

中込勝則(なかごみ・かつのり)

① 昭和十五年十一月 ②山梨県出身、東北大学卒。住友銀行退職後、現在、東京簡易裁判所調停委員 ③『日暮砦・訳註―信州真田藩藩政改革のこと』『トルコ・イスタンブール歴史紀行―シルクロード印象記IV』 ④中国およびユーラシアの歴史、漢詩文

中山喬央(なかやま・たかひろ)

① 昭和元年二月 ②あさひ銀行定年退職後、明治大学第二文学部卒業。平成十四年早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了(考古学専攻) ③『日本考古学の光と陰』(共著 彩流社)・『日本列島にも青銅器時代はあった』(共著 栄光出版社) ④日本列島での金属文化発生時期

鍋屋次郎(なべや・じろう)

① 昭和十年四月 ②銀行支店長・子会社役員を歴任、現在NPO ニッポン・アクティブライフ・クラブ、ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部代表 ④日本キリシタン史

平山善之(ひらやま・よしゆき)

① 昭和十七年五月 ②東北大学法学部卒。都銀退職後、元商工会議所専務理事。歴博友の会、えみし学会、房総古代学研究会会員。④東国の古代

松川博光(まつかわ・ひろみつ)

① 昭和十五年十一月 ②名古屋大学卒。安田信託銀行定年退職 ③『日本の一思想家の評価(大井憲太郎)』 ④近代日本思想史

三戸岡道夫(みとおか・みちお)

① 昭和三年八月 ②東京大学法学部卒業。協和銀行副頭取を経て作家活動に入る。日本ペンクラブ会員、日本文芸家協会会員 ③『二官金次郎の一生』『論語』(栄光出版社) ④歴史の未来

森下征二(もりした・せいじ)

① 昭和十六年十月 ②東北大学経済学部卒。「文芸復興」、「まんじ」及び「文学市場」同人 ③『断腕太后』、『乱離』 ④中国史一般

山本鎮雄(やまもと・しずお)

① 昭和十五年十一月 ②広島女子大学を経て、日本女子大学教授を退職 ③『西ドイツ社会学の研究』(恒星社厚生閣)・『時評家新明正道』(時潮社) ④現代日本・ドイツ社会学史研究

隆 恵(りゅう・めぐむ)

① 昭和十六年三月 ②東京大学卒。元都銀常勤監査役 ③『継体天皇の謎』 ④日本古代史